

大原社会問題研究所

100周年記念展示

第7回

水平社

2019年

10月2日(水)~11月29日(金)

午前9時~午後4時 開館

土・日曜日及び祝日は休館

法政大学大原社会問題研究所

法政大学多摩キャンパス3号館5階

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342

TEL:042-783-2305

MAIL:oharains@adm.hosei.ac.jp

HP: <https://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>

【交通】京王線めじろ台駅、JR 横浜線相原駅

JR 中央線西八王子駅より法政大学行きバスを利用

入場無料



第五回
全国水平社大會
 日時 五月二十三日(水)午前十時ヨリ
 會場 福岡市東町大博劇場ニテ
 來此川、全國の兄弟よ本大會へ
 保つ吾等の勝利を期せよ



綱領

- 一、特殊部落民は部落民自身の行動によつて絶対の解放を期す
- 二、吾々特殊部落民は絶対に經濟の自由と職業の自由を社會に要求し以て獲得を期す
- 三、吾等は人間性の原理に覺醒し人類最高の完成に向つて突進す

宣言

全國に散在する吾が特殊部落民よ團結せよ。

長い間處められて来た兄弟よ、過去半世紀間に種々なる方法で、多くの人々によつてなされた吾等の爲めの運動が、何等の有様い効果を齎らなかつた事實は、我等のすべてが吾々によつて、又他の人々によつて毎に人間を解放されて来た點であつたのだ。そしてこれ等の人間を動かすの如き運動は、かへつて多くの兄弟を墮落させた事を想へば、此際吾等の中より人間を尊敬する事によつて自ら解放せんとする者の集團運動を起せるは、寧ろ必然である。

兄弟よ、吾々の祖先は自由、平等の獲得者であり、實行者であつた。爾等も階級政策の犠牲者であり勇ましく産業的犠牲者であつたのだ。ケモノの皮製を報酬として、生々しき人間の皮を剥取られ、ケモノの心臓を笑く代償として、暖い人間の心臓を引裂かれ、そこへ下らない嘲笑の唾まで吐きかけられた現はれの夜の悪夢のうらみにも、なほ誇り得る人間の血は、流れずにあつた。そうだ、そして吾々は、この血を挙げて人間が神にかわらうとする時代にあつたのだ。犠牲者とその烙印を投げ返す時が来たのだ。殉教者が、その刺戟を感服される時が来たのだ。

吾々がエタである事を誇り得る時が来たのだ。

吾々は、かならず卑屈なる言葉と怯懦なる行爲によつて、祖先を辱しめ、人間を冒瀆してはならぬ。そうして人の世の冷たさが、何んなに冷たいか、人間を動かはる事が何んであるかをよく知つてゐる吾々は、心から人生の熱と光を懇求し得るものである。

水平社は、かくして生れた。

人の世に燃え、人間に光あれ。

大正十一年三月

水平社

— 綱領を掲げ —